

吉富町外1町環境衛生事務組合

8月28日、吉富町外1町環境衛生事務組合の平成26年度第2回組合議会が招集され、平成25年度一般会計歳入歳出決算認定が全会一致で認定された。

平成25年度の歳入・歳出の主なものとして、歳入は関係町からの分担金(構成比89%)、使用料及び手数料と繰越金などで、歳出は、し尿処理場・火葬場の管理費(人件費・物件費)など。なお、し尿処理場建設に向け、基金積立てを行っている。また、補正予算は、職員の出産、育児に伴う臨時職員賃金増で、全会一致で可決された。

平成25年度 一般会計歳入歳出決算

歳入総額	9293万円	歳出総額	8380万円
◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金	8288万円 (上毛町分4362万円)	し尿管理費	4792万円 汚泥9505kl(上毛5498kl)
使用料	532万円 (火葬料及びし尿処理料)	火葬管理費	1405万円 火葬件数199(上毛120)
繰越金	465万円 (平成25年度繰越金)	積立金	905万円

◎し尿処理施設建設基金積立(25年度末現在高) 1億3349万円

平成26年度 一般会計補正予算(第2号)

補正後の歳入歳出予算総額 9487万円			
◎ 歳入	◎ 歳出		
繰越金	97万円	総務管理費	97万円 臨時職員賃金、労働保険料(職員の出産・育児対応)

●その他/し尿汚泥肥料(アルファー)出荷実績(平成25年度)

吉富町	711袋
上毛町	954袋
その他地区	2706袋
合計	4371袋



豊前市外二町清掃施設組合

8月29日、豊前市外二町清掃施設組合は平成26年第4回定例会を開催された。平成25年度一般会計歳入歳出決算認定が主な議題であった。

平成25年度 一般会計歳入歳出決算認定

歳入総額	5億6420万円	歳出総額	5億4159万円
◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金及び負担金	4億5100万円 (上毛町分9804万円)	衛生費	3億8005万円 (ゴミ焼却費)
使用料及び手数料	4608万円 (廃棄物処理手数料等)	公債費	1億4734万円 (長期償還金)
財産収入	3054万円 (資源物売却収入)		

平成26年度 一般会計補正予算

補正後の歳入歳出予算総額 5億1955万円	
補正額	87万円追加 ●主な補正理由/備品購入費:45万円、賃金・委託料:42万円

安元 慶彦 議員

人事管理制度は生かされているのか

今任副町長 一定の効果はある



問 人事管理制度導入に多額の経費を投入しているが生かされているのか。
今任副町長 総合的に見ると職員の能力や意欲を高めて組織の活性化を図るという上では一定の効果があると認識している。しかし、所管課においてこの案件が指摘できなかったところを見ると、この人事評価制度が充分生かされていないか、と言わざるを得ないと思う。

問 懲戒処分の根拠法令は。今任副町長 地方公務員法第29条第1項の規定と町条例に基づいて処分を行った。内容としては職務上の義務に違反し、または職務を怠った場合というのがあるのでこれを適用している。
問 職務を怠ったことで勤勉手当の関係は。
川口総務課長 当然影響する。

ふるさと納税の現状は

問 現在まで本町に何人の方が寄附をしているか。また、本町の方が他の自治体にどれだけ寄附しているか。
福本税務課長 全体の総額は250万円。延べ寄附者は54件であり、町内の方が町外に寄附した分は2件で4万円である。

問 寄附者への返礼はどのようなになっているか。
福本税務課長 10万円以上の寄附があった方については5千円程度の特産品の詰め合わせを贈っている。

大平楽のその後は

問 賠償についての進展はどうか。
中会計管理者 財産を処分しても町に入金する目途はない。

問 刑事訴訟的なことはするの。
坪根町長 刑事訴訟には当たらない。今後の訴訟は考えていない。

水道料金の見直しは

問 水道料金※が下がってきているが見直しは。
坪根町長 平成30年4月より伊良原ダムから送水が予定されており、その時点で1m当たり141円程度が予定されている。その時には予算決算の状況を見ながら協議したいと考えている。
 ※水道料金は、京築地区水道企業団より町が購入する水の単価。



ふるさと納税者への返礼品の例